

ひとはみんなのために、みんなはひとりのために

栃木保健医療生活協同組合

2025.12月・2026.1月 合併号

# 健康とくらし

560号  
&  
561号

2025年は大変お世話になりました。  
今年もよろしくお願いたします。

大平山神社から見た日の出

私の目の前に広がる青空が、大切なあなたには何色に見えているのか、ふと不安になることがあります。同じ空を見ていても、同じ音楽を聴いていても、感じ方に違いがあることはごく自然なこと。感覚「感性」「感情」、そのすべてが、その人だけのものだからです。

では、この感じ方の違いから生まれる不安を和らげ、「共有」「共感」を生み出すためには、どうすればよいのでしょうか。それはきつと、自分の気持ちを抱きしめ、それを「伝える」「勇気を持つこと」。そして、同じように勇気を出してくれた相手に敬意を払い、ともにその気持ちを大切にすることだと思えます。

本紙の発行開始から50年。これまでの編集者も、言葉にどのような想いを乗せるか、きつと私たちと同じように考えてきたことでしょう。みなさまの手に届いた紙面から、法人や組合員の想いが伝わり、心のどこかに触れる言葉があったのなら、編集者としてこれほど嬉しいことはありません。

さて、「健康とくらし」という題を、だれがどのような想いで付けたのか、私は残念ながら知りません。しかし編集に携わる中で、少なからず感じていることがあります。それは、この紙面がみなさまの「健康とくらし」に寄り添い続けたいという願いです。

「健康」と「くらし」は切っても切り離せない相互関係にあります。並列助詞でつながった二つの言葉は、からだの「健康」だけでなく、くらしの中にある心のやすらぎや人とつながる喜びが「健康の種」であることを伝えてくれているのかもしれない。だれのくらしも、それぞれに大切で、かけがえないものです。自分のくらしを慈しみ、ときに他者と共感し、ともに健康を見つめていきましょ。

みなさまの健康とくらしが、2026年も穏やかで、笑顔に満ちたものでありますように。

待合室

## 理事長ご挨拶



栃木保健医療生活協同組合  
理事長 関口 真紀

あけましておめでとうございます。  
昨年は、栃木保健医療生協設立50周年を迎えました。今年はまた新たな50年の歩み始める年です。50周年を記念して憲法9条の碑も完成し、国際ジャーナリストの伊藤千尋さんの取材も受けました。憲法9条は、数千万人の犠牲者をだした第二次世界大戦への深い反省の上に実現した、日本と世界の良心の結晶です。医療生協が目指す健康な生活は、平和があってこそです。あらためて、平和の大切さを学び広げる年にしたいと思います。

私が両手をひろげても、  
お空はちっともとべないが、  
とべる小鳥は私のやうに、  
地面を速くは走れない。  
私がからだをゆすっても、  
きれいな音は出ないけれど、  
あの鳴るすずは私のやうに、  
たくさんな唄は知らないよ。  
すずと、小鳥と、それから私、  
みんなちがって、みんないい。



みなさんご存じの、金子みすゞの詩『私と小鳥と鈴と』です。社会の多様性の大切さを話題にする時、しばしば引用される詩です。

昨今、「日本人ファースト」という言葉あるいはそれに類する表現が選挙や公的な場で使われ、それは外国籍の人々や外国に出自をもつ人々を差別、選別する意図をもった言葉とともに語られることが増えています。日本だけでなく、世界中で移民排斥や民族差別の動きが強まり、何十年も時代が逆行したかのような暗澹たる思いにならざるを得ません。

異なる文化、風習に接したとき、違和感をもつことは誰しもあることと思います。しかし、そのような違和感は、一人一人が新たな価値、多様な価値に気がつき自分自身をより豊かにするチャンスではないでしょうか。

生協法には国籍条項はありません。生活協同組合運動は、地域で生活するすべての人の生活向上、健康、幸せを目指して、多くの人々が自主的に協力共同してとりくむ運動です。もっともっと、地域の中で様々な文化を持つ人々との交流を広げ、より楽しくより豊かな内容をもった班活動や居場所づくり、まちづくりの活動を進めていきたいものです。

今年もよろしくお願ひいたします。



## 新年のご挨拶



職員を代表いたしまして、各事業所の所長よりご挨拶申し上げます。  
今年も一丸となって取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。



### 生協ふたば診療所 北岡 吉民

あけましておめでとうございます。

ふたば診療所は、2024年に増築をおこない、今年28年目をむかえることができました。これも、地域の組合員のみなさんの応援・支えがあつてのことだと思ひます。

今年も組合員のみなさんと協同して、人と地域になくてはならない診療所として、みなさんの健康維持と安心して暮らすことのできる地域づくりに貢献していきたいと思ひます。今年もどうぞよろしくお祈ひします。



### 宇都宮協立診療所 軽部 憲彦

新年あけましておめでとうございます。

昨年は栃木保健医療生協50周年、11/1に行われた虹フェスでは多くの方にご来場いただき盛り上がりました。また、憲法9条の碑が建てられました。ぜひ、医療生協本部に来られる際はご覧ください。私の名前にも「憲」の字が入っているのでもとても身近に感じています。日本国憲法と平和を大切にしながら、職員と組合員のみなさんがつながり、地域の医療福祉介護を守り、安心できるまちづくりを目指したいと思ひます。今年もどうぞよろしくお祈ひします。

### 訪問看護ステーション虹

馬場 明美



両診療所を中心に2つのチームに分かれ、“利用者さまの「その人らしさ」を何よりも大切に、ご家族とともに歩む”という思いを胸に訪問をしています。今年も地域に根ざした訪問看護ステーションとして、みなさまの「安心」と「笑顔」を支え続けていきたいと思ひています。

### 居宅介護支援ふたば

柳澤 聖加子



みなさまには日頃より温かく支えて頂き、心より感謝申し上げます。居宅介護支援ふたばは、2026年も利用者さまお一人お一人が“ますますうま（午）く地域で安心して生活を続けられる為のお手伝いができるよう努めてまいります。

### 緑が丘・陽光地域包括支援センター

沼子 典正



包括支援センターでは2025年も困難なケースが多く、職員みんなで協力して乗り切ってきました。2026年も職員一人一人がスキルアップし、それぞれの専門性を活かして、力を合わせてがんばっていききたいと思ひます。

### 居宅介護支援虹

鈴木 勝也



2025年は法人創立50周年を迎えました。51年目も地域のみなさまの介護の相談窓口として、信頼される事業所になるよう努めます。お困りごとがございましたらお気軽にご相談ください。

### ヘルプーステーション虹

須藤 弥生



あけましておめでとうございます。みなさまに笑顔と元気と安心感をお届けできるよう、職員一同頑張っております。お困りごとがございましたらご相談下さい。今年もよろしくお願いいたします。

### デイサービス虹

直井 英典



あけましておめでとうございます。日頃より組合員さん、地域の方々のご協力に感謝いたします。デイサービスはみなさまとの「つながり」を大切にして、楽しく安心して過ごせる場所を目指して職員一同邁進してまいります。

## 宇都宮東支部



カレー＆バザーやスマホ教室・ウォーキング・組合員交流会などが開催でき、ぽえむ班も再開。班の活動の中で仲間が増えた1年でした。

## 安蘇支部



安蘇支部「たぬま ひだまりの会」は虹フェスにクラフトの出店をしました。支部始まって以来の出店です。手作りのバック類、置き物、小物等を出しほぼ完売でした。他の支部の人達と交流し、とても楽しかったです。

## 佐野支部



佐野支部員の夢が叶い3月に居場所「みちくさ」を開所。新班3班発足、健康チェック、交通安全学習会等開催することができ、活動の輪を広げる足がかりとなり、これからの活動の励みになりました。ありがとうございます。

## わたしたちの

# 2025年

## 宇都宮北西支部



ひたち海浜公園へのバスハイクや虹フェス出店など活動が充実した1年でした。金曜サロンは馴染みの方で賑わい、歌やおしゃべりなど楽しさいっぱいに過ごしています。

## 宇都宮中央支部



班活動は5班あります。あすなろ（体操）、手づくり、虹のソバ友、百日草（何でも）、オバ班（いろいろ）です。定期的に高齢者対象に組合員訪問を実施。またバスハイクでは主に美術館めぐりをしています。

## 宇都宮南支部



ふたば事業所が地域医療と介護の核となるように活動をしています。

- ・2000部の健康とくらしの発送作業
- ・地域のまつりに出店
- ・親睦と交流のバスハイク

## 日光ゆかい班



日光ゆかい班は、地域活動部のご協力を得ながら体組成計で一喜一憂し、体操やポッチャ・スポーツ吹き矢などで和気あいあいと楽しんでいます。来年は午年『飛躍』『前進』の年にしたいです。

## 那須支部



毎年恒例のバーベキューを楽しみました。今年はおしゃべりサロンの活動に“ポッチャ”などの新しい要素を取り入れて、よりたくさんの方に参加していただきたいです。

## 矢板班



矢板班は、月に1回の体操を中心に行いました。最高齢の方は98歳！体操後の手作りのお食事とみんなのおしゃべりもとっても楽しいです。

## 栃木支部



4月の総会から始まり、グラウンドゴルフ班は毎週土曜日の活動を継続。大会も元気に楽しく開催しました。ひまわり班はバスで見学や買い物を楽しみ、親睦を深めました。カラオケ班も新しく発足し、一人では出来ないことも皆が集まれば色々な活動ができる班会を楽しみにしています。

## 足利班



8月は休みとし、年に11回レインボー体操をインストラクターに世話になり行っています。2026年は本部主催のハイキングへ参加や自主イベントを行いたいと思います。

## 真岡支部



春はBBQ、秋はバス旅行（2025年は未開催）が恒例です。2026年も仲間たちと健やかな時間を共有したいです。

# 青空のもと虹フェス開催

11月1日(月) 明け方まで降り続いた雨が上がり、快晴のもと虹フェスがスタートしました。

オープニングは九条の碑除幕式。創立50周年と、戦後・被爆80年を重ね、私たちが一貫して大事にしてきた憲法をこれからも守り続けると誓いました。

野外ステージでは、子どもと大人の二つのグループが、フラダンスを披露しました。ありんこ保育園の子どもたちによる「ぞう列車がやって来る」の大合唱は青空と参加者の心に元気を届けました。屋内企画では、50周年を写真で振り返るボードが来場者を迎え、広島の高校生が描いた原爆の絵展示、宇都宮空襲を記録した紙芝居上演も行われました。

模擬店も充実しました。カレーや焼きそば、おもちなどの食べ物、学生サークルのノンアルコーラカクテル、職員のコーヒーストップも人気でした。宇都宮各支部はじめ、安蘇支部(佐野市)など組合員も出店しました。その他、地元自治会有志のみなさんとちぎコープの出店もありました。フリーマーケットブースでは近所の方、職員も親子で参加しました。

県内各地から集まった来場者は、スタッフを含め620人と発表されました。「50年の感謝を秋風に乗せて、地域まるごと笑顔のつどい」というキャッチフレーズ通り、会場全体に笑顔が広がりました。

コロナにより中断を余儀なくされたことがありましたが、虹フェスは第1回の健康まつりから通算して29回目の開催となりました。次回は30回目です。乞うご期待ください。



九条の碑を企画した50周年プロジェクトのみなさん



関口真紀理事長(右)と、鈴木順子実行委員長による除幕式。九条の碑の書は、組合員の佐藤明美さん



地元自治会有志のみなさんが、地場産ネギの販売。おもちも大人気



「お医者さんに聞いてみよう！」  
今年はお医者さんを独り占め。  
その分じっくりお話しできました。



風船ゲートがお客さんをお出迎え



レインボー薬局によるバスボム(泡の出る入浴剤)づくりは大人気!



「おはなしビスケット」のみなさんによるパネルシアター



屋外ステージではフラダンスを披露。虹フェスを華やかに盛り上げました

# レインボー薬局だより

## 服薬管理のヒント

お薬をきちんと飲み続けることは治療の効果をしっかりと出すためにもとても大切です。とはいえ「つい忘れてしまっ」「飲んだかどうか思い出せない」という声をよく伺います。そんなときに役立つのが「見える化」です。服用したらカレンダーに○をつける、1週間分を分けたお薬カレンダーを使う、など目で確認できる仕組みを作ると安心です。お薬の置き場所を決めておくのも効果的。あちこちに分けずに同じ場所から出し入れするだけで混乱が減ります。また、お薬の種類や量が多い方は「1回分ずつまとめた」「1包化（いっぽつか）」が便利です。袋に服用時間や日付を印字でき飲み間違いを防げます。毎日の服薬管理に少し工夫を加えるだけで治療がより確実に、そして安心して続けられます。

当薬局ではお薬カレンダーの取り扱いもご提供しますのでお気軽にお声かけください。



## おひとりさまの老後、介護保険の問題点について学ぶ

11月24日（月）社会学者の上野千鶴子東大名誉教授を招いた講演会（連続学習会実行委員会主催）が総合文化センターで開かれ会場一杯の二百人余が参加しました。

上野先生は「おひとりさま、自分らしく生きる」と題して講演。日本が高齢社会を迎え「おひとりさま」が増える中で、家族に頼らない生き方、死に方の自己決定とそれを可能とする環境づくり、認知症になっても住みつづけられるまちづくりの課題について述べました。また25年前、社会連帯の制度として介護保険制度ができ、老後の人生を支えてきたが財政問題を理由に負担強化と利用制限が行われようとしている、現状でも経営難と人員不足で「介護崩壊」が進んでいるとして、これを許さない運動と世論強化を呼びかけました。

後半、パネラーとして参加の宇都宮協立診療所の関口真紀医師は在宅看取りで自己決定を周囲とよく話し合うことの大切さについて述べました。若手俳人の家登みろくさんは人生を生き生きと過ごすための俳句の効用について述べました。民医連、保険医協会からは医療介護署名への協力が訴えられました。

生協ふたば診療所 天谷静雄



講演する上野千鶴子さん



発言する関口医師と家登みろくさん

## さようなら原発！ 栃木アクション

11月15日（土）宇都宮市城址公園でさようなら原発栃木アクションが県内の団体、原発ゼロを掲げる政党や市民など300名の参加で開かれました。

ゲストスピーカーとして飯田哲也さん（NPO法人環境エネルギー政策研究所長）があいさつ。「太陽光や風力など自然エネルギー活用が急速に拡大している。10年前は世界の全電力の0.8%だったが、今や10%を超えた。地球上に降り注ぐ太陽光のエネルギーは、全世界の電力エネルギーの1万倍であり、その安全な活用をめざす技術開発に世界中が取り組んでいる。一方で、日本政府は福島のような被害をまらで無かったことにするかのようにならざるを得ない」と述べた。



パレードする参加者

「電力が足りない」と言ったら、何十年もかかる原発よりも太陽光パネルを全住宅の屋根に設置した方がはるかに安全でローコストである。」と強調しました。

集会は「原発ゼロ」「自然エネルギー活用」を訴えたアピール採択後、市街地パレードも行ない「原発再稼働はストップしよう」などと訴えました。

# 九条の会・栃木が 総会と講演会

11月16日、とちぎ福祉プラザの会場に150人が集まって九条の会・栃木第21回総会と講演会が行われました。

一ツ橋大学名誉教授で東京大空襲・戦災資料センター館長の吉田裕先生が来場し「戦争の悲惨な現実くわしたちは、それをいかに語り継ぐべきか」と題して講演。アジア・太平洋戦争による日本側の戦死者・犠牲者230万人のうち実に75%近くが最後の1年間に集中している。兵士も戦死というよりも戦病死や餓死が多い。それは天皇制国家を守るためとして人命を粗末にした結果である。それから悲惨な戦争被害の中に加害の問題がどれだけ重なっているかを明らかにすることが重要だと述べました。

空襲被害については日本人の場合、民間人の戦争犠牲者からの補償要求を否定する「受忍論」がはびこっている。教科書でも東京大空襲のことが教えられていない。大軍拡が進み装備面では充実してもそれを支える人員が足りない。日本の経済的衰退の中でこのような大軍拡が身の丈に合ったものか。それは本当に日本を守るためのものか、と疑問を投げかけました。



講演する吉田氏

前半の総会部分では医療生協の九条の碑建設も紹介され、平和憲法を守る課題が熱心に議論されました。

生協ふたば診療所  
天谷 静雄

## 組合員の いきいき活動



ウロペーパーで尿中の塩分チェック！  
(11/5 足利班)



秋の飛山城址公園をウォーキング  
(11/7 宇都宮東支部)



佐野&足利をめぐるバスハイク  
(11/12 宇都宮南支部)



「みちくさ」で健康チェック  
(11/13 佐野支部  
元気あっぷ班)



佐野市の安藤勇寿「少年の日」  
美術館へ  
(11/21 宇都宮中央支部)



カレーパーティーで盛り上がる  
(11/21 宇都宮北西支部  
金曜サロン)



塩と上手におつきあい  
すこしお

# すこしお

レ  
シ  
ピ

お正月お手軽レシピ3品

電子レンジで簡単に作れる茶碗蒸し、梅とゆかりの香りが広がるいなり寿司、お正月らしい門松の紹介です。

どれも「福を呼ぶ」おめでたい味わいです。新年の食卓にぜひお試しください。



## いなり寿司 【材料】2人分

- ・ごはん……………200g
- ゆかり……………適量
- 梅干し
- ・油揚げ……………2枚
- ★醤油……………大さじ1
- ★みりん……………大さじ1/2
- ★酒……………大さじ1/2
- ★砂糖……………大さじ1.5
- ★水……………100ml

### 【作り方】

- ①油揚げを半分に切り、熱湯をかけ油抜きをする。
- ②鍋に★と①の油揚げを入れ味がしみこむまで煮る。
- ③味がしみこんだら、冷蔵庫に入れ冷ます。
- ④ご飯にゆかりを混ぜる。
- ⑤冷ました油揚げの中に④をつめる。上から梅干しをのせたら完成。

1人分：309kcal、塩分1.7g

## 茶碗蒸し

【材料】2人分

- ・卵……………1個
- ・白だし……………大さじ1
- ・水……………150ml
- ・しいたけ……………10g
- ・三つ葉……………適量



### 【作り方】

- ①しいたけは薄切りにする。
- ②卵、白だし、水をボウルに入れよく混ぜる。
- ③容器にしいたけを入れる。濾しながら②も入れる。
- ④三つ葉をのせ、ふんわりラップをして電子レンジ600wで2分10秒加熱する。
- ⑤電子レンジから取り出して1分おいたら完成。（ぶるぶるの場合はさらに10秒ずつ加熱する。）

1人分：46kcal、塩分0.6g

## ちくわ門松

【材料】2人分

- ・ちくわ……………2本
- ・いんげん……………4～5本
- ・かにかまぼこ…適量



### 【作り方】

- ①いんげんは下茹でしておく。
- ②いんげんは角度を付け斜めに切る。ちくわも斜め半分に切る。
- ③ちくわにいんげんを3本差しこむ。
- ④かにかまぼこの赤い部分をちくわに巻き付けたら完成。

1人分：29kcal、塩分0.9g

## 職員紹介

5月に協立診療所に入職しました管理栄養士の船越明日香です。

みなさまの健康に寄り添っていただけたらと思っています。よろしくお願いたします。



# 干支の人紹介コーナー

2026年の干支は「午」です。今年の顔である干支の人をご紹介します。



宇都宮北西支部  
阿部裕見子 さん(右)  
天谷美恵子 さん(中央)  
崎谷登志子 さん(左)

宇都宮北西支部運営委員の  
午年3人組です。  
2026年も元気に駆け抜け  
ます！



宇都宮協立診療所  
吉江千紘 さん(右)  
馬場俊幸 さん(左)

(吉) あわてないで色々な対  
応ができるようになりたいで  
す。  
(馬) 院内感染に気を付け  
て、医事課みんな健康でい  
たいと思います。



安蘇支部  
鈴木フサ江 さん(右)  
永島菊江 さん(左)

絵手紙の班会を新しく始め  
たいねという話をしていて、  
準備をすすめています。  
来年はみなさんにいいハガ  
キが出せるといいな。  
体調面では元気に現状維持  
を頑張りしたいと思います。

駿馬の勢いに乗って、今年も何事もウマくいく一年になりますように。

# 文芸コーナー

## 俳句・川柳

柿と芋私も干して甘くなれ 宇都宮市 福田則子さん  
今は亡き親の気持がしみじみと ペンネーム ガンバルバーバ  
見上げれば美の共演星月夜 宇都宮市 橋本とめ子さん

## 短歌

いくさ無き世になり過ごし私わたくしは 宇都宮市 塚田美子さん  
日本一の幸福もの  
晩秋の小田代が原草紅葉くさもみぢ ペンネーム イロハモミジ  
貴婦人のごと白樺たち

## 絵・写真



日光市 神山キヌ子さん



栃木市 味村 節子さん



那須烏山市滝太平寺の門前  
宇都宮市 井上 隆夫さん



宇都宮市 井上 和子さん



晩秋の絨毯 いつもの散歩コースにて  
足利市 秋元 晴男さん



足利市 錢阿寺の紅葉  
ペンネーム きいろ



北海道の時計台  
宇都宮市 塚田 美子さん

# クイズコーナー

## 問題 1 ナンプレクイズ

師走。1年納めの月です。やり残したことはありませんか。ナンプレにも挑戦してください。目標時間は21分

1	2	3	4	5	6	7	8	9
	9					8		
	2	4		3				1
7			9		8		4	
				8	2			7
	4			5			8	
2			4	9				
	3		2		6			5
4				1		9	6	
		5					2	

## 問題 2 対角線ナンプレクイズ

久しぶりに、対角線ナンプレに挑戦してください。対角線の9つのマスにも1~9の数字が入ります。目標時間は15分

1	2	3	4	5	6	7	8	9
	3	5				1	7	4
		7		2			3	
			6	7				8
		1						7
7		3		4		9		6
9						4		
	6			3	2			
		9		1		6		
	1	4	7				2	9



10月号クイズの答えと当選者

1	2	3	4	5	6	7	8	9
9	7	2	5	3	1	4	8	6
4	8	5	7	6	2	9	1	3
6	1	3	9	8	4	2	7	5
3	6	4	2	7	9	8	5	1
2	5	8	1	4	6	3	9	7
7	9	1	8	5	3	6	2	4
8	3	9	4	1	7	5	6	2
5	4	7	6	2	8	1	3	9
1	2	6	3	9	5	7	4	8

宇都宮市 鹿野秀俊さん  
ペンネーム ひろじい  
宇都宮市 植村富男さん

抽選でそれぞれ3名(計6名)の方にQUOカードをプレゼント!どちらか1つのクイズでもご応募いただけます。応募締切 2月15日 消印有効

## 読者の声

### 秋はよいへ

今年、6月頃から暑い日が11月半ばまで半年間も続き、その後は、涼しかったり、ちょっと暑かったり、そして急に寒くなり、秋はどこへ行ったの?老体の身には酷いですよ。11月1日は、私の誕生日です。冬へのスタートかしら?

宇都宮市 市川八千代さん

### 今年の抱負を考える時間

朝の光が乾いた空の空気に注ぎ込み、テーブルに舞い降りた。  
新春のおだやかな時、コーヒーを飲みながら今年の抱負を考える。マイペースで無理をせず元気に過ごしましょうか。

ペンネーム マサコサン

### 戦後の思い出

毎号、楽しく関心を持って読んでいます。  
私も十月二十日で満88歳の誕生日を迎えました。妻は、九月二十日で85歳です。  
私は、小学校2年の八月十五日で、第二次世界大戦の終戦を迎えました。  
その後、地域の青年団や消防団、農協の活動に参画して、後に、栃木県連合青年団の団長になりました。昭和四十年一月に、仲間達のお祝いを受け、結婚して、宇都宮市上野町に移動し、もう早や55年が過ぎ去りました。  
この間、自治会長、民生委員、PTA会長などを体験して、今日に至っております。医療生協とも出会い、結成当時から参加しております。

宇都宮市 上野 茂さん

### 11月号を読んで

こたつ周りの注意で、先日ヘルパーさんに掘りこたつを作ってもらいましたら、「隅の布はこうして中に。足を引っかけやすいですよ。」と教えてもらいました。  
我が家もまた、3代目の猫は「返品」された子でした。きつと、猫ちゃんの良い方に引き取られていきますよ。ちなみに3代目は元気に20歳目前まで生きてくれました。すぐに私たちになつき、言葉も覚えてくれてお利口な子でした。へんぴんちゃんが新しいお家に行きますように。  
今月号は特に読みごたえがありました。ありがとうございました。

宇都宮市 佐藤和子さん

### 次のチャレンジは

「朝一杯の水を飲む」や「ラジオ体操とウォーキング」は、すっかり習慣化された。次のチャレンジは…なんて考えているが、果たして?

ペンネーム ひろじい

## 医療メモ

### 医療も存立危機事態!

「病院の半数が経常赤字」「地域の病院が突然無くなる?」「医科診療所も4~5割が医業赤字」  
「賃上げができませんスタッフも雇えない」多くの悲鳴が聞かれ、小泉政治以来の医療崩壊の危機だ。  
公定価格である診療報酬据え置きのまま物価高騰がこれに拍車をかけている。高市首相は所信表明演説で「国民の命と健康を守ることは重要な安全保障」と述べたが今こそその実現を迫りたい。

生協ふたば診療所 医師 天谷静雄